

科目名	民俗学演習	
担当者	森田 清美 / MORITA, Kiyomi	
科目情報	人間文化<歴史地理> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	現代社会における生きた民俗学調査・研究の方法を身近な民俗を通じて学ぶ。それをもとに、民俗芸能・行事・調査を積極的に実施し、必ずしも歴史の表舞台に登場してこなかったような生活文化の変容過程を明らかにする。
	到達目標	民俗学調査・研究の方法を授業と実践を通して学ぶ。先祖から引き継がれた良き慣習や人の心の在り方を追究し認識する。そして広い視点から現代社会の諸問題を解決しようとする方法と実践力をつける。
授業計画	<p>☆身近な興味ある民俗から学んでいく</p> <p>(1) 眼の色や顔の動きで表現する日本人の民俗を学ぶ(ジェスチャーによる民俗Ⅰ)</p> <p>(2) 股のぞきやクシャミ、大声の不思議(ジェスチャーによる民俗Ⅱ)</p> <p>(3) 妖怪や幽霊の本性を見る(境界の民俗が何故見直されるか)</p> <p>(4) 山の神の意味</p> <p>(5) 七夕と盆</p> <p>☆ 民俗学研究の方法を身につける</p> <p>(6) 伝説の史実化</p> <p>(7) 成人式や結婚、葬式など人生儀礼の調査</p> <p>(8) 過疎化、いじめ・虐待に関する問題の調査</p> <p>(9) 民俗学研究の先輩や古老に聞く</p> <p>☆ 民俗調査実践(教室の外に積極的に出て行く)</p> <p>(10) 民俗行事の巡検実施Ⅰ・浜下り(日置市)</p> <p>(11) Ⅱ・民俗芸能(指宿市)</p> <p>(12) Ⅲ・民俗宗教〈隠れ念仏〉(霧島市)</p> <p>(13) Ⅳ・流鏑馬(日置市)</p> <p>(14) Ⅴ・山神・内神調査(南さつま市)</p> <p>(15) 総まとめ</p>	
自学自習	事前学習	毎回の授業を受けるにあたって、事前予習しておくべき事項 ・「使用教材」・「参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味の分からない専門用語は民俗事典などで事前に調べておくこと。
	事後学習	授業後に課す概要、および次回まで復習すべき事項 ・毎回、小レポートを課す。 ・授業の初めに、前回学んだことに対する質問を課す。
使用教材・参考文献	<p>【教】 授業ごとにプリント(小冊子)を次回の分まで配布</p> <p>【参】 新谷尚紀『民俗学徒は何か』吉川弘文館 森田清美『宮崎文庫58 隠れ念仏と救い』鉾脈社</p>	
成績評価方法と基準	平常点・巡検調査への意欲・レポート	
備考		